

## 令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	85	学校名	静岡県立湖西高等学校	記載者	望月 俊和
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	全教育活動を通じて、安定的な生活リズムの確立を支援する。	「時間を守った規律ある生活ができている」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席・遅刻では成果目標の数値を達成し、かつ、生徒・保護者共に上昇しているのは意識改革が進んでいることの表れだと思う。</li> <li>○校内での規律を守った生活</li> <li>■放課後や帰宅後を含めた全体での状況把握についての確認をお願いしたい</li> </ul>
		「朝読書の時間、集中して読書に取り組んでいる」と答える生徒が85%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持ってない生徒には、朝読書を行う意味をしっかりと理解させる仕掛けを行うように。</li> <li>・学級文庫として20～30冊各教室に配備し、本を用意していない生徒への対応策としてはどうか。</li> <li>・「集中して」は静かにしていればできていると捉えるのか？どのように生徒が自己評価しているかお聞きしたい</li> <li>○大変すばらしいと思います 興味を持つ幅が広がる</li> </ul>
	カード（「がんばろう湖西！」）指導を活用し、全教職員一丸となった生活指導を実践する。	「あいさつや身だしなみ等、基本的な生活習慣を、きちんと身につけようと意識している」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、身だしなみとも上昇していてよいことだと思う。校内だけでなく、校外でもあいさつができることが望ましい。</li> <li>○挨拶、身だしなみ生徒皆さんに意識が有る</li> <li>■指導側の検査許容枠に若干曖昧さが有る</li> </ul>
イ	<b>授業を大切にし、授業に集中して取り組む姿勢と、自ら学び、自ら考える力の育成を図る。</b>	「授業を集中して取り組んでいる」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がるに連れ、C・D評価が増えているのは残念である。何のために学ぶのかという目的意識を持たせたい。</li> <li>○新しい取り組みに率先して学ばれていると感じる</li> </ul>

	<p><b>教職員の指導力の向上に向け、校内研修の充実を図る。</b></p>	<p>校内研修年間 3 回以上の実施 研修終了後、「有益だった」と答える教職員 100%</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有益だったと答えていない 12・5%に対して、なぜ有益でないのかを掘り下げて次年度に生かしてほしい。</li> <li>・校内研修は、職員会議後や定期試験中等の時間を活用して実施されているのでしょうか。</li> <li>・教科や経験年数の違う教員集団が 100%有益だと答えるのはすばらしい。同じ方向を向いて研修が進められていると思う。</li> </ul> <p>△参加された方は有益だったとご回答されているようですが、欠席された方が他の先生の説明や、資料での共有が可能だったか</p>
	<p><b>生徒の学力向上に向けて、授業改善に取り組む。</b></p>	<p>「湖西高校の授業はわかりやすい」と答える生徒が 85%以上</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元や各授業における到達目標を生徒に提示することで、生徒の意識を高められると思います。</li> <li>・タブレットも活用し、わかりやすく魅力ある授業を実施している姿を見ることができた。</li> </ul> <p>○ I C T 授業への取組みを今後も深耕して頂きたい</p>
<p>ウ</p>	<p><b>地域・社会との連携・協働により学びの深化を図る。</b></p>	<p>「自らが地域の活性化に貢献している」と答える生徒が 75%以上</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動による活動は、積極的に行われており地域貢献を果たしていると思うが、学校全体での連携や協働を企画して生徒を巻き込む取組みが必要では。</li> <li>・グローバルハイスクールの取組が地域の活性化に貢献していると考えます。</li> <li>・三味線部が地域の行事で活躍しているのを拝見した。その姿を称揚し、郷土を愛する生徒を今後も増やしてほしい。</li> </ul> <p>○部活動単位での参画は市の催事等を含め、今後も盛り上げていただきたい</p> <p>■御祭等の伝統行事や地域毎の清掃活動等にも参加を促していく事も必要ではないか</p>

	<p>地域や保護者への広報活動の充実を図る。</p>	<p>「学校行事や進路状況等の情報がわかりやすく伝えられている」と答える保護者が85%以上</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見や何を伝えてほしいかを確認することにより、目標達成に近づくように取り組んでほしい。</li> <li>・生徒の肯定的回答が増加している一方で、保護者の肯定的回答が減少している原因を究明する必要があるそうです。</li> <li>・保護者が考える情報収集ニーズをつかむ手段も必要かと思う。どのような情報が必要かをアンケートするのも手かと。</li> <li>・湖西高校レポートにより情報が広く伝えられていると思う。</li> </ul> <p>○地域回覧板への添付は、今後も継続をお願いします</p> <p>■様々なツールを利用され広報されているが、ツールを利用している事を更にPRして頂きたい</p> <p>■学校ホームページの更新を定期的に確認してください</p>
<p>エ</p>	<p>部活動、特別活動への取り組み意欲を高めるとともに、社会貢献活動の更なる推進を図る。</p>	<p>「部活動、特別活動に意欲的・積極的に取り組んでいる」と答える生徒が90%以上</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>○部活動への積極的な取組は評価</p> <p>■特別活動について、評価が見えない</p>
		<p>部活動継続率2年生95% 3年生85%</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>△別途PTAより提案しております活動と並行でご検討いただければと思う</p> <p>△ご案内されていると思いますが、年度初めに参加日程や費用を明確に出来たらと考える</p>
		<p>部活動等による社会貢献活動15回以上/年</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学での部活動の地域移行推進が検討される中、高校と中学との合同練習等を実施することにより、地域での課題解消に協力できるのでは。</li> <li>・部活動で培った成果を披露（発表）する機会があることは、大きな励みになります。</li> <li>・今後もぜひ、続けていただきたい。生徒の自己有用感が育っていくと思う。</li> </ul> <p>△参加された部活動が偏っている点</p> <p>△小中学校との部活動での交流が可能とれば、進学希望者も増加の可能性もあるかと</p>

様式第5号

オ	生徒たちの多様な進路希望の実現を図る。	進路希望実現 就職希望者：100% 進学希望者：95%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい成果だと思います。</li> </ul> △進路希望に関する情報公開や、地域体験を更に行っていただきたい
		課外補講、模擬試験、外部講師による講座等について、随時検証が行われている。必要があれば柔軟に修正が行われている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の定数減による進学補講の実施については、非常勤講師への協力を依頼するしかないか。</li> <li>○ICT導入による、課題の見出しや解決に向けての方策が生徒毎に細分化され共有し易くなられたと思う</li> </ul>
カ	心身の健康増進といじめへの確実な対応	『いじめを許さない』という雰囲気がある」と答える生徒が85%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の SOS や変化をうまくキャッチ出来るようにして早期発見と対応をお願いしたい。</li> <li>・アンケート調査は有効であると思う。いじめを生まない人間関係作りで工夫していることがあればお聞きしたい。</li> <li>○いじめへの意識が共有され、良い環境作りがされていると考える。</li> </ul>
	教育相談体制の充実を図る。	「信頼して相談できる先生がいる」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と生徒の信頼関係が厚いことは素晴らしいことです。</li> <li>・生徒と教師の関係がよい表れだと思う。生徒に寄り添っているのが伝わっているのではないか。</li> <li>○今後も生徒の模範の立ち位置からもサポートを希望</li> </ul>
	学校内外の環境整備・美化を図る。	「清掃にきちんと取り組んでいる」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の清掃活動についてもお疲れ様でした。</li> <li>・継続指導をお願いしたい。</li> <li>○来訪時、生徒の校内美化意識が高いと感じます</li> </ul>

様式第5号

キ	危機管理に関する校内体制の強化と地域防災に対する意識の高揚を図る。	校内外の安全指導 1回/週	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の安全点検は、少なくとも学期に1回は実施すべきではないでしょうか。</li> <li>・かなりの頻度で実施されている。安心安全な教育が実施されている。</li> </ul> ○通学路（歩道橋工事）に関し、関係部署、地域と迅速にご対応されていた ■災害時の保護者および地域連携について今後課題
		「命や安全を守るための防災訓練等がきちんとされている」と答える生徒が85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策を他人事ではなく自分事として捉え、対応する必要があります。</li> <li>・昨今、発生している様々な災害に充分に対処出来る様、今後も積極的に地域と連携した訓練への参加きっかけを是非、お願いします。</li> <li>・通学途中で地震がおきた場合、自宅で起きた場合など想定し落ち着いて行動できるよう常の訓練が大事である。</li> </ul> △災害後の各対応やボランティア活動まで様々な場面を想定し訓練をされてはと考える
	教育活動の活性化に向け、施設・設備の充実を図る。	不具合箇所への迅速対処100%	A	A	△不具合改善箇所が非公開な為、判断出来ず
		R5年度 実施予定の修繕の実施・完了80%	A	A	△体育館での雨漏りを含め、申請をお願いしたい
ク	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の見直しについて一人一案の募集と全体での検討年1回以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務見直しを進めるために、従来のやり方を踏襲するのではなく、抜本的に見直すことを行う勇気と実行力をもつこと。</li> <li>・教員の定数減は、色々なところに影響が出てきます。皆さんで知恵を出し合って、協力体制を確立する必要があります。</li> </ul> △他の業種（同窓会役員、PTA役員）での業務改善案の聞き取りや施策を聞きとっては如何か
		定時退勤月2回、早時退勤 各自原則週1回以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の精選・見直しには限界があります。早期に給特法の改正が望まれます。</li> <li>・働き方改革の推進を今後も継続し、生徒のためにも教職員が元気の職場が望ましい。</li> </ul> ■部活動に携わる職員の業務時間の改善を希望